

令和4年度 医学部・薬学部 入学試験 英語 解説

出題意図について

全体を通じての出題意図は以下のとおり。

- 多種多様なテキストを的確に読み取り、理解する能力を評価する。
- そのテキストが表現媒体として、あるいはコミュニケーション媒体として旨とするところを、テキスト理解にもとづいて把握する能力を評価する。
- 英語ならびに日本語の語彙を理解し、運用する能力を評価する。
- 学んだ知識と身につけた技能を応用し、英語ならびに日本語で他者に伝えるべく表現する能力を評価する。

各問について

I

出典は、近代的自然科学の典型あるいは代表選手と見なされることの多い物理学について、その営みならびに獲得される知識のありさまを論じた、すでに定評のある文献である。問題文とされた部分の論旨は、意想外というより、指摘されてみればそれはそうだと納得できるものであろう。この主張は自然科学一般にひろく妥当しうるのではないかと、思考をさらに展開してみたい。

問題文は英文としては標準的であり、設問も標準的な形式とした。日頃の適切な鍛錬がある高校生なら、それほど苦勞せずに読解し対応できるだろう。

問1、問2、問3、問5

論述の展開を理解したうえで、語彙や構文を、さらには文章としての論理構造を、的確に読み取り適切な日本語で表現できるかどうかを評価する。どの問題も、英文の構造を判別して読解する能力を、また、文脈を踏まえて語彙や語句を適切に読解し表現する能力を評価する。

今回の問題で評価基準とされた事柄をいくつか下に列挙する。

- よく用いられる基本語彙の多様な用法の理解

- よく用いられるイディオムの理解
- よく用いられる基本構文の的確な理解
- that 節や if 節の精確な理解
- 分詞による表現の理解

問 4

問題文の論旨の中核をなす概念を理解できるかを評価する。

II

出題されたテキストでは、古代ギリシアの哲学者プラトンの理論と精神分析学の創始者フロイトの理論の類似性について解説がなされている。精神医学の成り立ちの一端に光を当てており、著者の大胆な発想は、医学の歴史を俯瞰で見ることの面白さを教えてくれる。「人間の精神は高次の部分と低次の部分の二つに分かれる」という、両偉人の思想の共通点が把握できさえすれば、読解は一気に楽になるはずである。

問 1、問 3、問 4

テキストの文脈を理解した上で、文構造や語彙を読み取り、適切な日本語で表現できるかを評価する。評価基準とされた事柄をいくつか下に列挙する。

- 無生物主語による表現の理解
- 指示語の理解
- 同格の表現の理解

問 2

指示語および同一の表現をもとに該当箇所を見つけ出し、それを適切な日本語で表現できるかを評価する。

問 5

文脈を頼りに該当箇所を見つけ出し、それを適切な日本語で表現できるかを評価する。

III

テキストは、少年が夜に両親の寝静まったあと家を抜け出して川で冒険をしようとする場面を描いたものである。情景、夜の照明の様子、冒険を控えた少年のワクワクする気持ちと夜の暗さにおびえる気持ちが、詳細に、ときにユーモラスに描かれている。

問1、問7

テキストの文脈を理解した上で、文構造や語彙を読み取り、適切な日本語で表現できるかを評価する。評価基準とされた事柄をいくつか下に列挙する。

- 分詞による表現の理解
- 指示代名詞の理解
- 無生物主語による表現の理解

問2、問3、問4、問5

文脈を追ってテキストを理解し、情景、人間関係、主人公の心の動きをとらえることができるかを評価する。

問6

a

IV

出題された文章は、著名な作家が子供時代の読書について語ったものである。日本語特有の表現を柔軟に解釈し、基礎的な英語の知識と論理的思考力を駆使して、英語で表現することができるかを評価する。